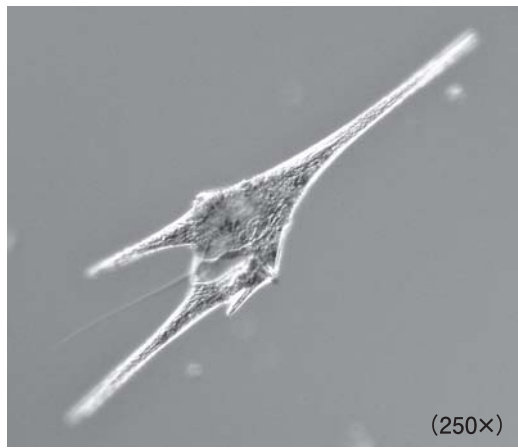




Ceratium hirundinella(ケラチウム)は、湖沼や貯水池などで普通に見られる藻類。増えすぎると淡水赤潮の原因となる。

藻類の調査で水環境をモニタリング 水道水の安全安心に貢献

環保協の
環境生活
センター
⑧ 水道事業課

環境生活センター水道事業課では、主に水道水やそのもととなるダム水や河川水の調査などを行っています。ダム水や河川水の部は浄水場に取り入れられ、適切な処置がされた後に私たちが日ごろ利用している水道水となります。今回は、水道水のもとになるダム水や河川水に含まれる藻類を中心に話します。

藻類は、動物プランクトンや水生昆虫、魚類の餌となり、生態系の中では次生産者として重要な役割があります。そのほか、光合成による酸素の発生で、水の浄化にも寄与しています。

一方ダムなどの富栄養化がすすみ藻類が増殖すると、アオコや赤潮といった現象を引き起こしたり、浄水場のろ過閉塞や異臭味障害など、さまざまな問題の原因となることがあります。また、ある特定の藻類が出す物質によって、カビのようなにおいを生じること知られています。

私たちは、ダムや河川に生育する藻類を定期的にモニタリングし、異常が見られたときには緊急対応がとれるよう、日頃から監視を続けています。藻類を調べること、浄水場での対策が必要か判断する材料とし、私たちに安心な水道水づくりに貢献しています。

これらとは別に、藻類は水環境の状況を推測するための指標生物という側面も持っています。化学分析のように、ある瞬間的な水質を調査するのではなく、空間的、時間的変化を含めた水環境の総合結果として、水質評価によく利用されます。

藻類は、生態系の中で重要な役割を担っている方で、増えすぎると私たちの生活に悪影響を及ぼすこともあります。水道事業課では、藻類の調査を通じて、環境や水道水の保全に関わり、私たちの身近な生活の安全安心に貢献しています。私たちは、そんな藻類を顕微鏡から垣間見えています。

(水道事業課)



顕微鏡を使い、藻類を調査・同定する当協会職員

県は、食品衛生基準を満たした製造・加工施設について、独自に認証する制度を実施しています。適合した施設は、商品に『認証マーク』を貼ることができます。当協会は認証機関として、食品衛生管理の認証・更新審査や指導などを行っており、このシリーズでは、当協会が認証した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきます。



⑤ 川根柚子協同組合



認証日:平成29年6月8日
所在地:安芸高田市高宮町川根
2253-4
創業:平成22年2月8日
話し手:製菓主任
熊高 真奈美 様

人に見えないことを大切に。 従業員が同じレベルで衛生管理

■業務内容

農業を使わずに栽培された川根産柚子を使って、商品開発・製造・販売を行っています。素材の香りや味を大切にしながら、飲料や調味料、ケーキを製造しています。

また、組合員と川根柚子ブランドを育て、過疎対策など地域の活性化を目指しています。

衛生管理についてはさまざまなことに取り組んでいますが、一番のポイントが「人」がスペシャリストではなく、みんなができるように学習・実践

■理のポイント

衛生管理についてはさまざまなことに取り組んでいますが、一番のポイントが「人」がスペシャリストではなく、みんなができるように学習・実践

■消費の皆さまへ

「人に見えないことを大切に。」をモットーに、自慢の柚子を使い、消費者に喜んで頂ける製品作りを心がけています。「柚子」あたる「ケーキ」は、「FOODEX」美食

する興味関心の高まりを感じていたとき、県の認証制度を知り、取り組みが始まりました。今年度は「菓子製造業部門」で認証を取得しています。

「今後のステップアップ」認証部門の拡大と、認証取得時に構築したHACCPの仕組みをすべての認証に水平展開を行います。

また、川根柚子ブランドは、おかげさまで多くの方に認知いただくようになり、これからは地元がもっと元気になるよう事業を継続していきます。引き続き川根柚子をよろしくお願ひします。

記事・馬場田



③4 福山市

ポスター・標語コンクール 10周年記念巡回展示会

平成20年度に始まった『環境啓発ポスター・標語コンクール』は、今年度10周年を迎えました。それを記念して県内各地で巡回展示会を開催します。

第1弾として福山市公衛協が6月22日～30日の9日間、市役所ロビーで開催し、枝廣市長、市役所を訪れた市民をはじめ受賞者のご家族や市役所職員が児童・生徒の力作を鑑賞しました。作品展を見に来た受賞者のご家族は、「受賞したときは小学1年生、現在は高校生です。息子はあの時のことを今でもよく覚えていて、他の生徒が描いたポスターに関心を持って見ているようです。」(H21年度ポスター・小学校低学年の部・最優秀賞)、「家族で見に来ました。息子は高校生で応募できませんが、小学4年の妹が「今年の作



展示会場を訪れ、10年間の受賞作品を見る市民

品のヒントにしたい。」と書いていました。」(H22年度ポスター・小学校低学年の部・最優秀賞)、「家族で見に行きました。孫は受賞後、環境に興味を示すようになり、食事のときも時々環境の話が出るので、表彰はインパクトがあったようです。」(H28年度標語・小学校高学年の部・奨励賞)と、感想を話されていました。

ポスター・標語を通じて環境啓発する子どもたちの作品の展示は、第2弾として、7月24日～28日に竹原市公衛協が市役所ロビーで、8月1日～10日まで廿日市市大野公衛協が大野市民センターで展示会を開催しました。その後も各地で開催を予定していますので、ぜひ足を運んで子どもたちの作品をご覧ください。

(地域活動支援センター)